

鳥獣被害を防ぐために ～防護柵の設置と管理のポイント～

固産業振興課 ☎0869-24-7221

鳥獣被害を防ぐためには、野生動物たちに農作物の味を覚えさせないことが重要です。そのために欠かせないのが防護柵です。今回は、ワイヤーメッシュ柵と電気柵を中心に、正しい防護柵の設置方法についてご紹介いたします。

柵設置の3原則

- ①農作物の味を覚えさせない（被害に遭う前に対策）
- ②柵に切れ目、隙間を作らない（地際に注意、原則四方を囲う）
- ③見回りがしやすいルートで設置（定期的な草刈り、点検が必須）



ワイヤーメッシュ柵設置のポイント

①支柱にしっかりとくくりつける

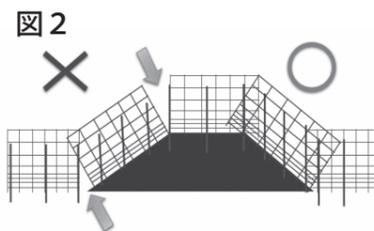
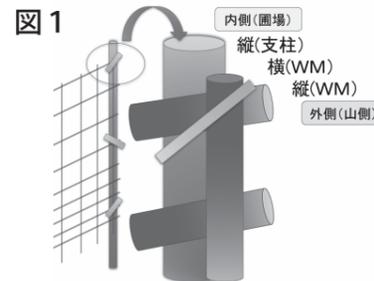
ワイヤーメッシュ柵には裏表があります（図1）。向きに注意して、しっかりと支柱に固定しましょう。結束は3カ所で、斜めに行います。

②十分な高さを確保する

乗り越えられないようにイノシシ用は80cm以上、シカ用は150cm以上を確保しましょう。また、斜面はできるだけ避け、かさ上げしましょう。

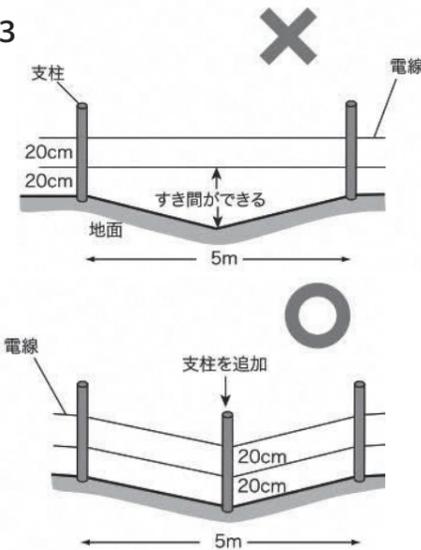
③下部は地面に密着させる

地面と接する部分をくぐり抜けることができないように、地面に30cmほど打ち込みます。また、凹凸部分や傾斜地など隙間が出やすいところは、特に注意が必要です（図2）。



※鳥取県日野郡鳥獣被害対策協議会資料から引用

図3



※「野生鳥獣被害防止マニュアル-イノシシ、シカ、サル(実践編)-」(農林水産省)から引用

電気柵設置のポイント

①鳥獣の鼻の高さに電線を張る

体毛が生えていない鼻先から足の裏にかけて電気が抜けたときに強いショックを感じます。イノシシ用であれば、地面から20cm間隔で2段張ります（図3）。

②凹凸部や傾斜地では支柱をたくさん使う

平坦地では、支柱の数は4mに1本程度で構いませんが、凹凸部や傾斜地ではたくさん使って隙間を空けないようにしましょう（図3）。

③24時間通電する

電気が流れていないときに電線に触れた動物は「電気柵は痛くない」と誤学習し、2回目以降、電気柵の効果がなくなります。電気柵は必ず24時間通電するようにしましょう。

※本記事は「野生鳥獣被害防止マニュアル-総合対策編-」(農林水産省)を参考に作成しています。一般的な対策を講じるもので、実際には農地ごとの条件に合わせて対策を行う必要があります。

健康ライフ

健康づくり推進課
☎0869-26-5961

受動喫煙のない 社会を目指して

日本の喫煙に関連する病気で亡くなった人は年間12～13万人、世界では500万人以上と推定されています。

喫煙は肺がんに限らず、ほとんどの部位のがんの原因になるといわれています。がんの他にも、脳卒中や虚血性心疾患などの循環器疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの呼吸器疾患、さらには糖尿病、妊娠周産期の異常（早産、低出生体重児、死産、乳幼児突然死症候群）など、さまざまな病気の原因になります。

※受動喫煙とは、他人の喫煙によりたばこから発生した煙を吸い込んでしまうことです。



誰かのたばこの煙を吸うだけで 喫煙者と同様のリスクがあります

普段たばこを吸わない人は、たばこの煙に対する感受性が高いため、他人のたばこの煙を吸い込むだけで肺がん、虚血性心疾患、脳卒中など喫煙者と同様の病気にかかるリスクが高まります。

こうした受動喫煙による疾患の死者数は、年間1万5千と推計されています。



厚生労働省「健康増進法の一部を改正する法律 参考資料」から抜粋

令和2年4月から 原則として屋内禁煙となりました

「受動喫煙防止」を図り、健康への影響が大きい子どもや病気の人などに特に配慮することを目的として、健康増進法の一部が改正されました。

これにより、令和元年7月からは学校、病院、児童福祉施設、行政機関では原則敷地内が禁煙となり、令和2年4月からは、それ以外の施設でも原則屋内禁煙となりました。

この法律改正によって、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは、マナーからルールへと変わりました。

(参考) 厚生労働省 WEB サイト「なくそう！受動喫煙」
<https://jyudokitsuen.mhlw.go.jp/>



6月4日は「むし歯予防デー」です！

むし歯を作らないためには…

- ★毎日しっかり歯を磨こう。
- ★ジュースやお菓子を食べすぎないように気を付けよう。
- ★バランスの良い食事をとろう。
- ★フッ素配合の歯磨き粉や洗口剤を上手に活用しよう。

良い生活習慣で歯の健康を保ちましょう！

